

平成 29 年 9 月 関町図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

日時	平成 29 年 9 月 28 日 (木) 15 時 40 分から 16 時 50 分まで
場所	光が丘図書館 視聴覚室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館 (以下「光」) 管理係長、運営調整係長・係員 (2)、事業統括係長、子供事業統括係長 ※光が丘図書館長は欠席</p> <p>(2) 関町図書館指定管理者 (株式会社図書館流通センター) (以下「関」) 関町図書館長、同館業務従事者 (2)、本社スタッフ (1)</p>
内容	<p>① 施設管理について</p> <p>(光) 視聴覚室・会議室利用案内の配付について → (関) 貸出可能な会議室等の紹介や申請方法の案内を作成し 7 月から配布している。</p> <p>(光) 7 月の視聴覚室からの音漏れに関する苦情について → (関) コーラスグループの音が隣のティーンズコーナーに漏れているとの苦情があった。スタッフが確認したが大きな音ではなかったため、多少のざわつきも許容しているティーンズコーナーの特色も説明し、苦情者には静かに利用できる別の座席を案内した。</p> <p>② 職員体制・会計収支について</p> <p>(光) 8 月に実施した「練馬区立図書館の地域資料関係業務研修」について → (関) 地域資料サービスへの理解を深めるため、館長代理が、地域資料担当者の仕事内容や地域資料コーナーの資料や展示内容を全スタッフに紹介したもの。</p> <p>③ 事業計画について</p> <p>(光) 8 月の「練馬区独立 70 周年記念展示」について → (関) エントランス正面に記念絵本「I Love 練馬あるある」や記念誌「くるりとねりま」のほか、練馬ゆかりの作家たちの著作や関連資料を併せて展示。展示資料 67 冊に対し、81 回の貸出しがあった。記念絵本の原画の複製画や、デジタルサイネージで流した「I Love 練馬あるある」の動画は好評だった。</p> <p>(光) 8 月の座席管理システムに関する質問について → (関) 予約待ちの方から、なぜ座席が空いているのかという質問を受けたもの。座席利用者が予定時間より早く利用を切り上げた場合に発生する。座席が空けば、次の予約者が時間を繰り上げて利用できるが、当初予約した時間を目安にカウンターに来るため、なかなかそうはならず、質問を受けた状態が発生してしまうことがある。</p> <p>(光) 地域施設との連携事業について進捗状況は。 → (関) 近隣の高齢者施設や障害者施設を訪問し、どのようなことが出来るか調査している状況。子育て支援施設との連携は来年度の実施を考えている。</p> <p>(光) 資料のテーマ展示を多く実施しているが、何か違いや特徴はあるか → (関) 一般と児童で違いがあると感じている。一般向けの資料展示は、借りられるものも多いが、それでも全体の貸出数から見ればわずかで、全体に影響してくるものではない。</p>

ただし話題作りや全体の雰囲気作りには有効であり、今後も、利用者の興味を引き付け、借りてみたいと思えるような内容にしていきたい。一方、児童は、一か月で5回転している展示資料もあるなど、率先して展示資料から借りられている。全体の貸出数に占める割合も高く、こういった本を展示コーナーに並べるかはとても重要となっている。

(光) 貸出回数0の本が展示をすることで借りられており、資料展示を有効に活用している。

コーナーとしては余り目立たない地域資料の展示で工夫していることがあるか

→ (関) 地域資料の貸出数は多くないが、地域情報の発信も図書館の役割であり活性化したいと思っている。7月、8月にかけては練馬の農をテーマに展示を行い、マルシェや観光農園を紹介する冊子やパンフレットはよく持ち帰られていた。今後も展示をうまく使って、地域の情報や資料を演出し、地域コーナーの魅力を伝えていきたい。

④ 児童サービス事業について

(光) 7月に小学校から依頼を受けて行った「図書館見学会」はとても良いと思うので、支援校にも呼びかけをお願いしたい。

→ (関) 承知した。

(光) 7月の中学生等がうるさいため、入替制を提案する苦情について

→ (関) グループがいくつかあると多少ざわつくが、格別うるさいと感じる状態はない。

(光) 7月、8月開催の「夏休みしらべもの応援隊」について

→ (関) 小・中学生に対し、スタッフが「調べもの応援隊」のバッジを付け、夏休みの課題作成のサポートを行った。バッジの効果は不明だが、バッジを付けていた時間帯のレファレンス件数が7月は26件、8月は84件、合計110件であった。

→ (光) 8月7日から9日まで、視聴覚室に職員が常駐していた際の様子。

→ (関) 3日間で57名の参加があった。広報としては、ポスター掲示のほか、デジタルサイネージの活用や学校支援員から支援校への周知を行った。

(光) 8月の「高等学校生奉仕活動の受入」について

→ (関) 3校の生徒を受け入れ、奉仕活動の一環として図書館業務の一部に従事してもらった。奉仕活動ということで、図書館を知ってもらうというよりは仕事としての体験であり、図書館が必要としている作業をお願いしている。

→ (光) 読書活動へつなげる工夫は。

→ (関) 今回に限らず、外部から来た方には、お薦めの本や身近で流行っている事を聞いている。どんな内容やテーマが、どのような世代の心にヒットするのか、展示やブックリストを作成する際の参考としている。

(光) 8月開催の「1日図書館員」について

→ (関) 図書館の仕事を体験し、普段見ることが出来ない図書館の裏側を見学することで、図書館をより身近に感じてもらおうと実施した。2回とも定員がすぐにいっぱいとなり、とても人気があった。

(光) 夏休み期間中の支援員の活動状況は。

→ (関) 小学校は4校中3校が夏休みも学校図書館を開館したため利用支援を行った。また、夏のお薦め本や季節の展示を行ったほか、2学期に向けての準備作業を行った。